



□基本理念

○利用者の心と体をもっとも大切に考え、自立と社会参加を援助することを基本理念としています。

○温もりのある心と未来を見通す広い視野をもって、利用者一人一人の持つ能力や才能を存分に発揮できるよう努めます。

A E D 体験を共に

施設長 澤井 康郎

この度の熊本地震により被害に遭われた皆様に、心からお見舞いを申し上げます。被災された皆様が一日も早く平穏な日常を取り戻せるよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、障害者福祉事業所の消防訓練は、原則として年2回以上の実施が義務付けられています。たんぽぽでも年2回、消防訓練を実施しています。直近の訓練は、地震・火災を想定したものでした。利用者さんの目標は「地震発生時は、机の下に入って頭を守り、揺れが収まったら、サイズの合った防災用ヘルメットを正しく装着し、避難することができる」でした。避難が終了し、人数を確認してから講評を行います。右のようなイラストを使い、この2点ができたかどうか自己評価をしてもらいます。毎回、利用者さんはしっかりと避難してくれます。昭和の大横綱・双葉山が残した相撲界の名言で、「稽古は本場所のごとく、本場所は稽古のごとく」という言葉があります。避難訓練もそうです。「訓練は本番のように真剣に、本番は訓練のように落ち着いて」といつも話しております。



さて、職員は毎年救命救急訓練（A E D 及び胸骨圧迫）を実施しています。万一、心臓が停止するようなことがあった場合に、救急隊が到着するまでの9分間（全国平均）に、その場に居合わせた人が適切な応急手当を行うと、何もしなかった場合に比べて、救命率が約3.2倍高くなるというデータ（東京消防庁）があります。A E Dとは、自動体外式除細動器のことで、心臓が痙攣しポンプ機能を失った際、電気ショックを与えて、正常なリズムに戻す医療機器です。



＜救命救急訓練の様子＞

音声ガイドに従い操作するため、一般の方でも使用可能です。1分1秒を争う救命活動では、胸骨圧迫と併用し必須となる装置です。とは申しまして、触ったことのない方にとっては、操作は怖いと思います。我々職員は利用者さんを預かっている以上、万一のときには操作できなければなりません。地域の方々には、A E Dを設置していることは以前よりたんぽぽだよりでアナウンス申し上げておりますが、一緒に体験していただく機会を設定させていただきました。南町小学校防災委員会による3月に実施している防災訓練でも児童へのA E D体験を実施しております。たんぽぽでは地域の方々にぜひ体験していただきたく存じます。

9月5日（土）14:00～15:00 たんぽぽでA E D訓練を実施いたします。ぜひ、お越しください。お待ちしております。

9月の活動予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 開所日 13:00 帰り
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24	25	26 開所日
27	28	29	30			

法人本部よりお知らせ

決算報告については、当法人 HP(<https://fukushiryuhoh.or.jp/> 各種報告)もしくは WAMNET の社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム(法人名 龍鳳 で検索)で開示しております。

AED 体験会に参加しませんか？

9月5日(土) 14:00~15:00 たんぽぽ 2階食堂にて、AED (自動体外式除細動器)の体験会を行います。防災学習センターの方に来ていただき、AED の使い方を体験できます。どなたでも参加できます。いざという時に命を守る訓練を、一緒に身につけませんか。ご興味のある方はぜひご参加ください。

受付時間 13:30~ 13:55 1階玄関にて受付いたします。



2026 年度 日帰り旅行

〈練馬区立石神井公園 ふるさと文化館〉



今年度の日帰り旅行では、石神井公園にある「ふるさと文化館」へ行ってきました。梅雨の時期に重なり、当日の天候に利用者さんたちもドキドキしていましたが、全日程雨に降られることなく、予定通りに実施することができました。

練馬区といえば練馬大根！練馬大根の漬物づくりに使われている重石を実際に持ったり、模型ではありますが、乾燥させている練馬大根を見学しました。練馬大根を初めて知る方も多くいらっしゃいましたが、細長い大根をじっくりと眺めたり、展示に興味深そうに鑑賞したりする姿が見られました。

土器のパズルにも挑戦しました。マグネットで組み立てられるようになっていましたが、形を合わせるのが難しく、苦戦する場面もありました。職員が挑戦している様子を見て、利用者さんも「やる！」と意欲的に取り組まれ、完成を目指して楽しみながら挑戦されていました。昔ながらの街並みコーナーでは、けん玉やオセロ、コマなどが置いてあり、それぞれやりたいものを選び楽しんでいました。

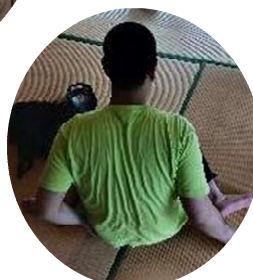
旧内田家という古民家では、昭和 20 年代の暮らしが再現された家屋に入り、当時の生活の様子を見学しました。多くの利用者さんが畳に寝転がってくつろぎ、思い思いの時間を過ごしていました。



思い出のとしまえんのアトラクション！



職員と挑戦！



だいすき！畳！



出発準備バッチリ！



井戸の水を出す体験！
手を洗いました。



昼食はガストへ！

事前の打ち合わせで、それぞれが食べたいメニューを決めてガストへ向かいました。

実際にメニューを見たり、ほかのお客様が召し上がっている料理を見たりして、「やっぱりこれにしよう！」と予定していたメニューを変更する利用者さんもいらっしゃいました。

念願だったハンバーガーをおいしそうに頬張る方、ドリンクバーで抹茶オレを飲みながらゆったりと過ごす方など、ガストでの楽しみ方は人それぞれ。デザートまでしっかり味わい、大満足の利用者さんも多く見られました。

おいしい食事と笑顔あふれるひとときを過ごすことができました。

来年度も、利用者さんの笑顔がたくさん見られる楽しい行事を企画していきたいと思っています。



いただきます！



念願だった
ハンバーガー！

